

令和3年度学校保健統計調査結果（確報値）

和歌山県の概要

1. 学校保健統計調査について

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにし学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく基幹統計調査として文部科学省が毎年実施しています。

調査の範囲は、国立、公立、私立の幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）、小学校（義務教育学校の第1学年～6学年を含む）、中学校（義務教育学校の第7学年～9学年を含む）、高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）としており、調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和3年4月1日現在）までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部としています。調査事項は発育状態（身長、体重）と健康状態（疾病・異常の有無）であり、発育状態調査については、年齢別、男女別に系統抽出法により対象児童等を抽出し、健康状態調査については、調査実施校の在学者全員を対象としています。

2. 和歌山県の調査対象数

学校種別	学 年	年 齢	幼児、児童、 生徒総数(人)	調査実施校 (園)数	調査対象者数(人)	
					発育状態	健康状態
合 計			94,710	148校(園)	13,012	51,673
幼稚園		5歳	3,398	28園	937	1,419
小学校	1年生	6歳	7,118	58校	906	3,326
	2年生	7歳	7,044		902	3,206
	3年生	8歳	7,361		905	3,364
	4年生	9歳	7,574		918	3,428
	5年生	10歳	7,507		916	3,467
	6年生	11歳	7,602		926	3,423
	計		44,206		5,473	20,214
中学校	1年生	12歳	7,958	38校	1,476	4,613
	2年生	13歳	7,989		1,481	4,553
	3年生	14歳	7,946		1,485	4,538
	計		23,893		4,442	13,704
高等学校	1年生	15歳	7,699	24校	720	5,415
	2年生	16歳	7,610		720	5,363
	3年生	17歳	7,904		720	5,558
	計		23,213		2,160	16,336

※年齢は、令和3年4月1日現在の満年齢です。

※幼児、児童、生徒総数は令和3年度学校基本調査結果によります。

※調査対象者は、幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）については5歳児のみで、高等学校については満18歳以上の生徒及び通信制課程の生徒は除きます。

3. 利用上の注意

(1) 調査結果の公表

本集計結果は、文部科学省から公表された「令和3年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）」のうち、和歌山県分について取りまとめたものです。

(2) 表中の符号について

「-」…計数がない場合

「△」…数値が減少、又は負の数の場合

「0.0」…計数が単位未満の場合

「…」…調査対象とならなかった場合

「X」…標本サイズが小さい、又は標準誤差が大きいため統計数値を公表しない場合

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとなりました。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできません。

【 発 育 状 態 】

1 和歌山県の児童・生徒の体格（平均値）

(1) 身長（表1、図1-1～2）

男子の身長は、16歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

女子の身長は、6歳、7歳及び10歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

(2) 体重（表1、図1-3～4）

男子の体重は、11歳及び15歳から17歳を除く各年齢で全国平均を下回るか同等の数値となっています。

女子の体重は、5歳、8歳及び12歳を除く各年齢で全国平均を上回るか同等の数値となっています。

表1 発育状態調査結果

身長 (単位: cm)

区分		男子			女子		
		和歌山	全国	差	和歌山	全国	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	111.0	111.0	0.0	109.4	110.1	△ 0.7
	6歳	116.7	116.7	0.0	116.1	115.8	0.3
小学校	7歳	122.6	122.6	0.0	121.9	121.8	0.1
	8歳	127.8	128.3	△ 0.5	127.5	127.6	△ 0.1
	9歳	133.5	133.8	△ 0.3	133.9	134.1	△ 0.2
	10歳	139.1	139.3	△ 0.2	141.2	140.9	0.3
	11歳	145.6	145.9	△ 0.3	147.3	147.3	0.0
中学校	12歳	153.1	153.6	△ 0.5	151.3	152.1	△ 0.8
	13歳	159.9	160.6	△ 0.7	154.7	155.0	△ 0.3
	14歳	165.6	165.7	△ 0.1	156.4	156.5	△ 0.1
高等学校	15歳	168.3	168.6	△ 0.3	157.2	157.3	△ 0.1
	16歳	170.1	169.8	0.3	157.7	157.7	0.0
	17歳	170.6	170.8	△ 0.2	157.9	158.0	△ 0.1

体重 (単位: kg)

区分		男子			女子		
		和歌山	全国	差	和歌山	全国	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	19.2	19.3	△ 0.1	18.6	19.0	△ 0.4
	6歳	21.4	21.7	△ 0.3	21.4	21.2	0.2
小学校	7歳	24.3	24.5	△ 0.2	23.9	23.9	0.0
	8歳	27.4	27.7	△ 0.3	26.8	27.0	△ 0.2
	9歳	31.1	31.3	△ 0.2	30.8	30.6	0.2
	10歳	34.9	35.1	△ 0.2	35.0	35.0	0.0
	11歳	39.8	39.6	0.2	40.0	39.8	0.2
中学校	12歳	44.8	45.2	△ 0.4	43.7	44.4	△ 0.7
	13歳	49.8	50.0	△ 0.2	47.9	47.6	0.3
	14歳	54.7	54.7	0.0	50.3	50.0	0.3
高等学校	15歳	59.7	59.0	0.7	51.5	51.3	0.2
	16歳	61.6	60.5	1.1	52.3	52.3	0.0
	17歳	63.2	62.4	0.8	53.0	52.5	0.5

図1-1 年齢別身長の全国との比較（男子）

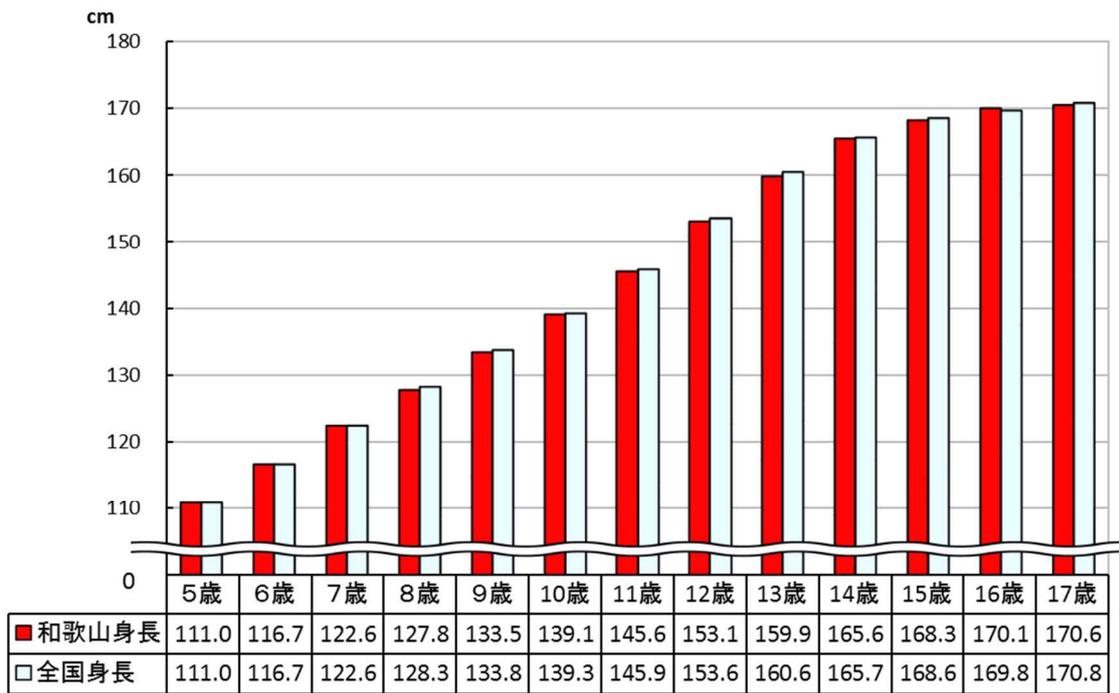


図1-2 年齢別身長の全国との比較（女子）

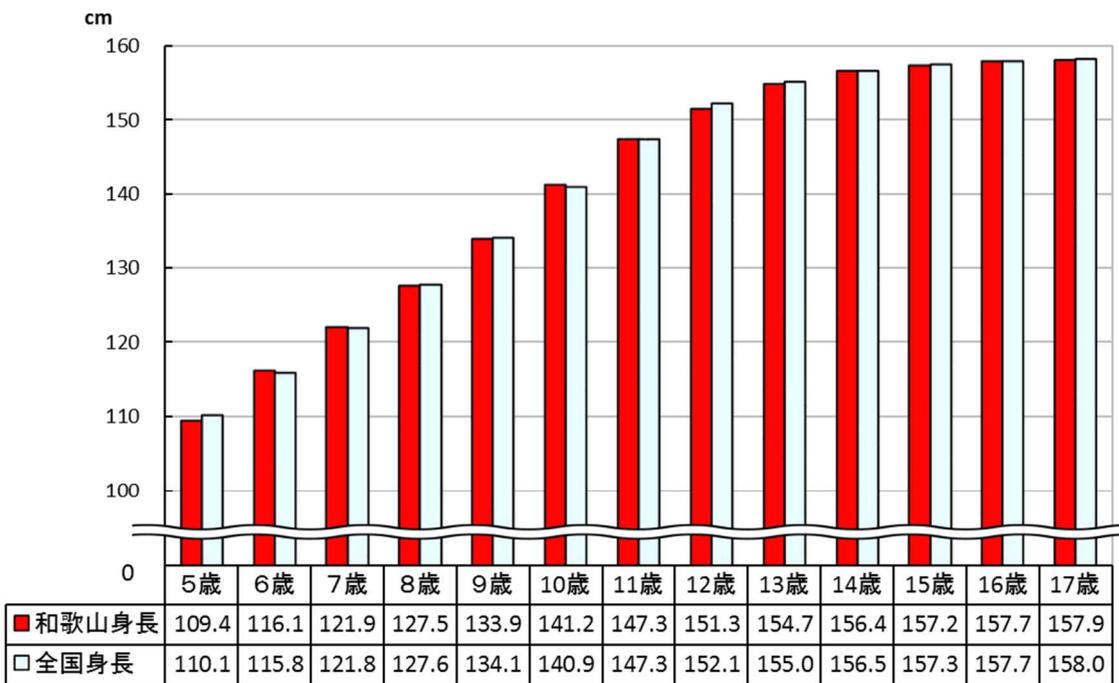


図1-3 年齢別体重の全国との比較（男子）

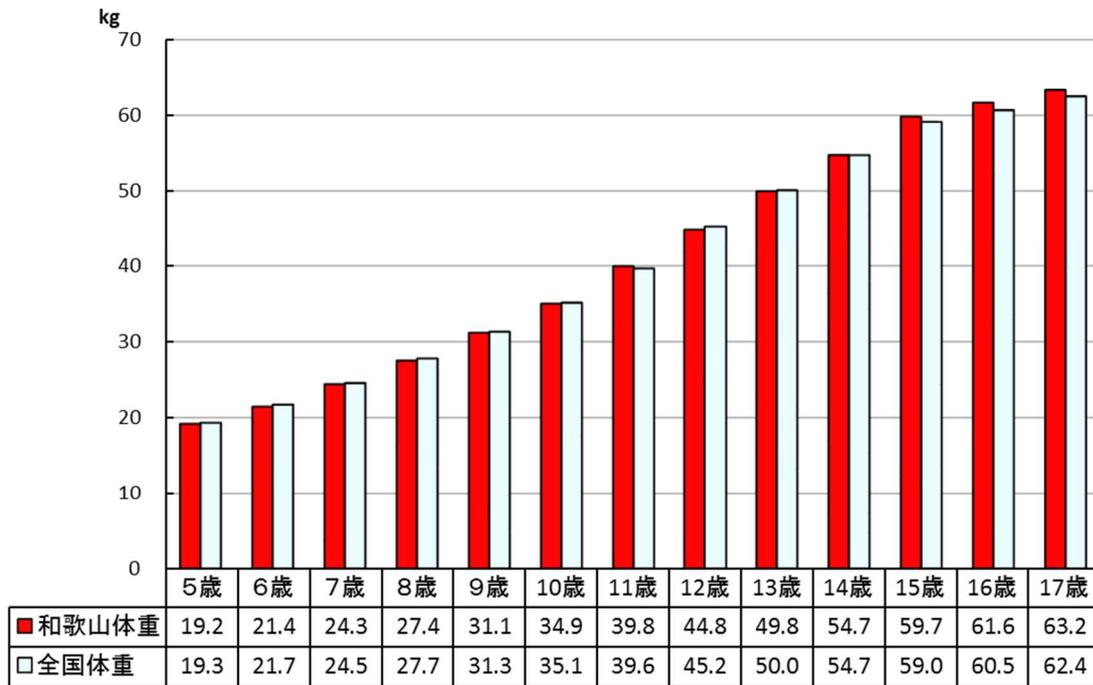
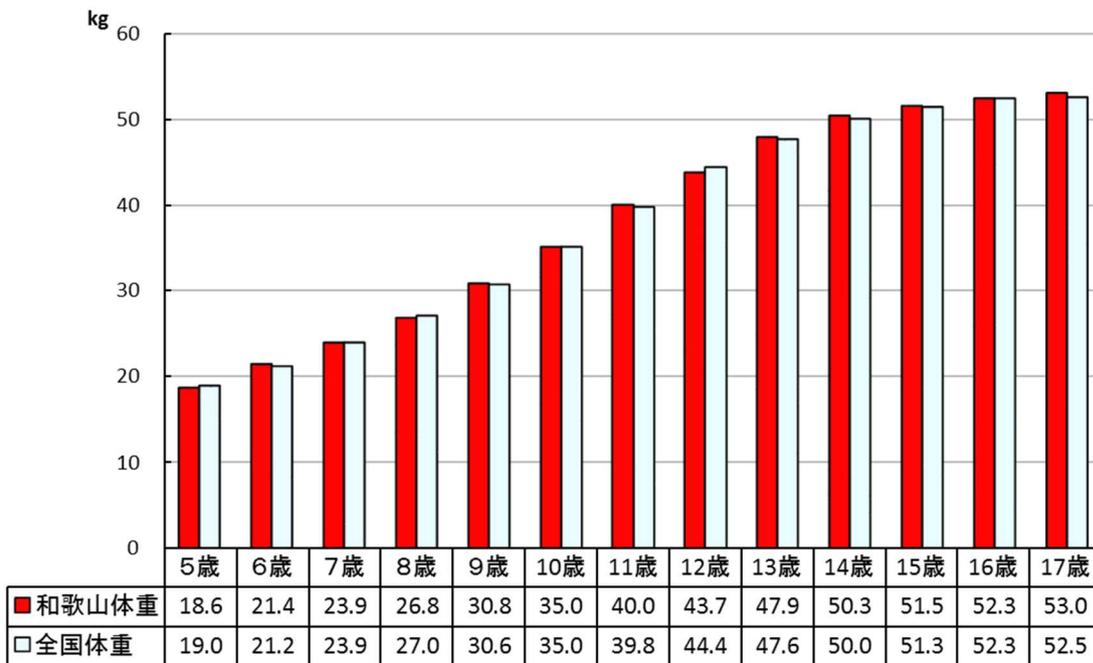


図1-4 年齢別体重の全国との比較（女子）



参考1 平成15年度生まれ（令和3年度17歳）の者の年間発育量

(1) 身長（参考表1、参考図1-1）

平成15年度生まれ（令和3年度17歳）の年間発育量をみると、男子は11歳時に最大の発育量を示しています。女子は9歳時に最大の発育量を示しています。

(2) 体重（参考表1、参考図1-2）

平成15年度生まれ（令和3年度17歳）の年間発育量をみると、男子は14歳時に最大の発育量を示しています。女子は11歳時に最大の発育量を示しています。

参考表1 平成15年度生まれ（令和3年度17歳）の者の年間発育量

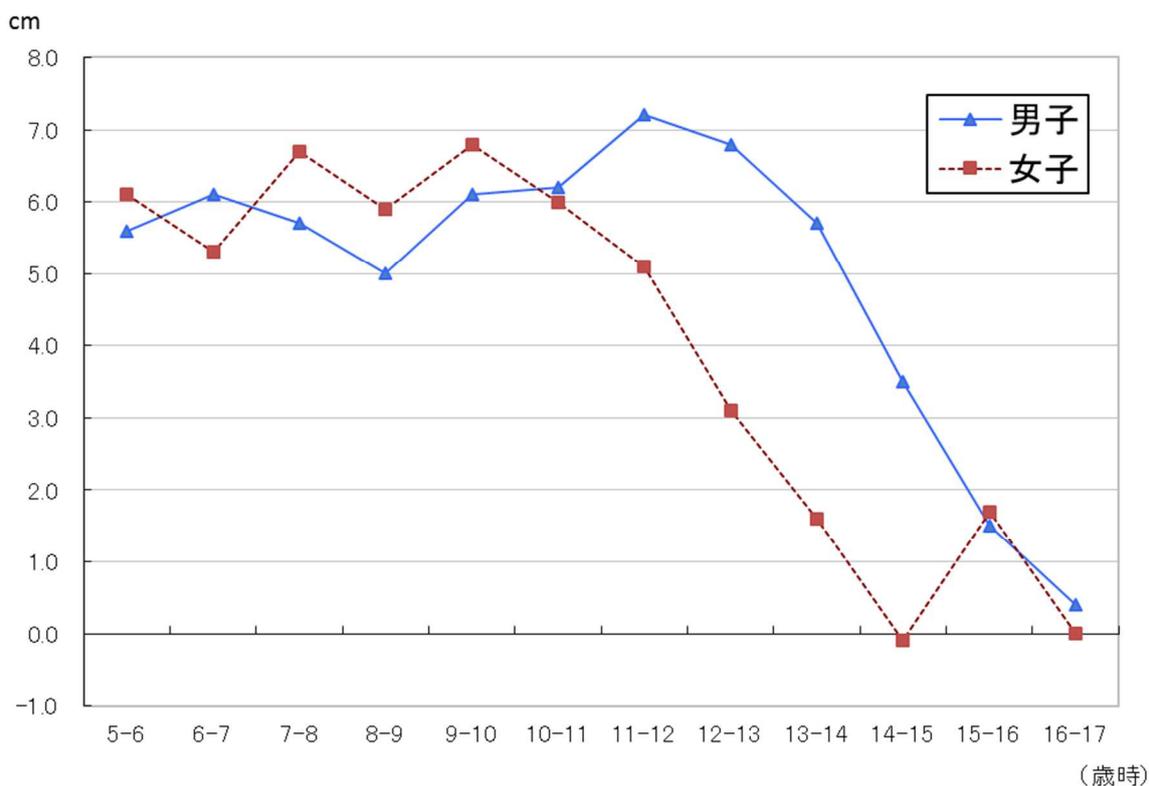
区分		身長(cm)				体重(kg)			
		男子		女子		男子		女子	
		和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国
総発育量		59.8	60.1	48.2	48.1	44.1	43.4	34.6	33.9
幼稚園	5歳時	5.6	6.0	6.1	5.9	2.1	2.4	2.8	2.4
	6歳時	6.1	5.9	5.3	5.8	2.5	2.6	2.1	2.4
小学校	7歳時	5.7	5.6	6.7	5.8	3.3	3.1	3.1	2.9
	8歳時	5.0	5.4	5.9	6.2	3.0	3.3	3.7	3.7
	9歳時	6.1	5.3	6.8	6.5	4.0	3.6	4.2	4.0
	10歳時	6.2	6.3	6.0	6.6	4.6	4.2	4.6	4.8
	11歳時	7.2	7.5	5.1	5.2	5.4	5.8	5.0	4.9
中学校	12歳時	6.8	7.3	3.1	3.0	4.9	5.0	3.9	3.5
	13歳時	5.7	5.3	1.6	1.7	5.1	5.0	2.8	2.7
	14歳時	3.5	3.0	-0.1	0.6	5.7	4.8	1.2	1.8
高等学校	15歳時	1.5	1.9	1.7	0.5	0.8	2.1	1.0	0.2
	16歳時	0.4	0.6	0.0	0.3	2.7	1.5	0.2	0.6

※年間発育量とは、例えば、平成15年度生まれ（令和3年度17歳）の「5歳時」の年間発育量は、平成22年度調査6歳の者の身長・体重から平成21年度調査5歳の者の身長・体重を引いた数値です。

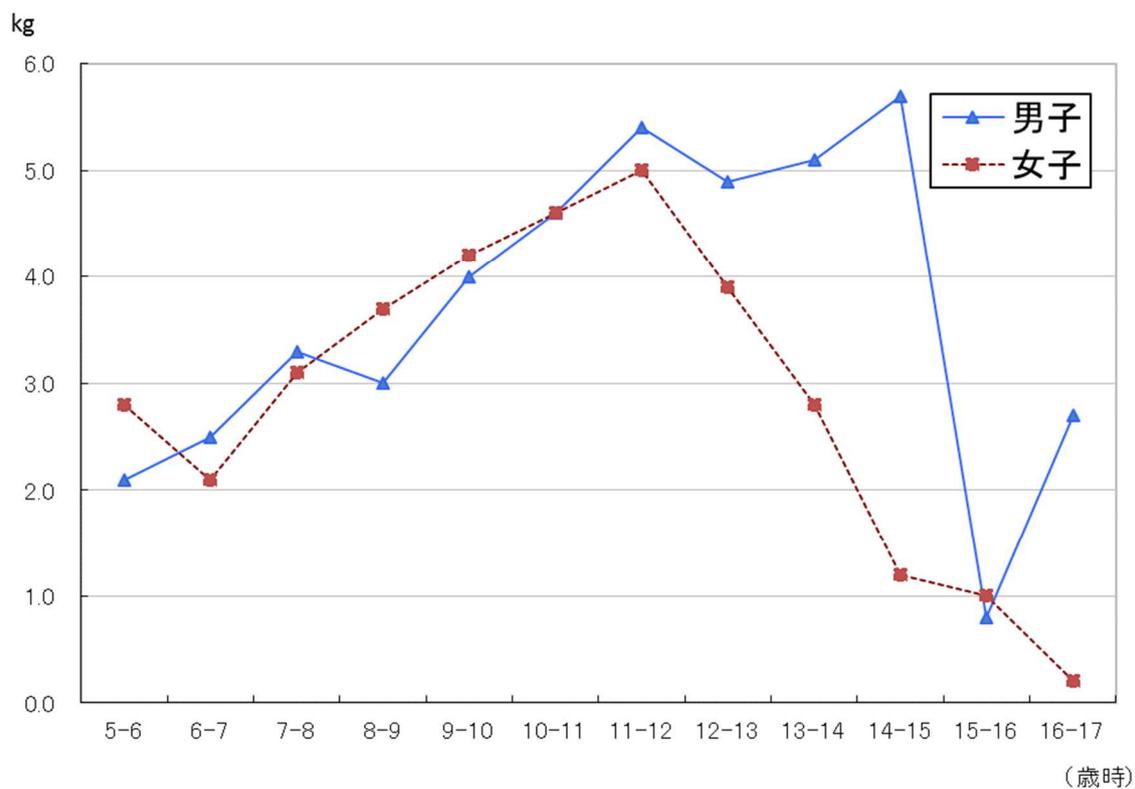
※表の網掛け部分は、5～16歳時のうち最大の年間発育量を示しています。

※令和2年度及び令和3年度の集計結果については、調査時期の影響が含まれるため、15歳時及び16歳時の年間発育量は参考値となりますので、ご注意ください（P2「3. 利用上の注意」(3)参照）。

参考図 1-1 平成 15 年度生まれ（令和 3 年度 17 歳）の者の年間発育量（身長）



参考図 1-2 平成 15 年度生まれ（令和 3 年度 17 歳）の者の年間発育量（体重）



参考2 親の世代（30年前の平成3年度の数值）との比較

(1) 身長（参考表2、参考図2-1～2）

和歌山県の令和3年度の身長を親の世代（30年前の平成3年度の数值）と比較すると、男子では、6歳、8歳及び15歳を除く各年齢で30年前の平均身長を上回るか同等の数值となっており、最も差が大きいのは12歳で1.8cm高くなっています。

女子では、5歳、7歳及び12歳から14歳を除く各年齢で30年前の平均身長を上回るか同等の数值となっており、最も差が大きいのは10歳で1.4cm高くなっています。

(2) 体重（参考表2、参考図2-1～2）

和歌山県の令和3年度の体重を親の世代と比較すると、男子では、6歳を除く各年齢で30年前の平均体重を上回るか同等の数值となっており、最も差が大きいのは17歳で1.8kg重くなっています。

女子では、5歳、12歳、15歳及び16歳を除く各年齢で30年前の平均体重を上回っており、最も差が大きいのは9歳で0.9kg重くなっています。

参考表2 親の世代である30年前（平成3年度調査）との比較

身長 (単位:cm)

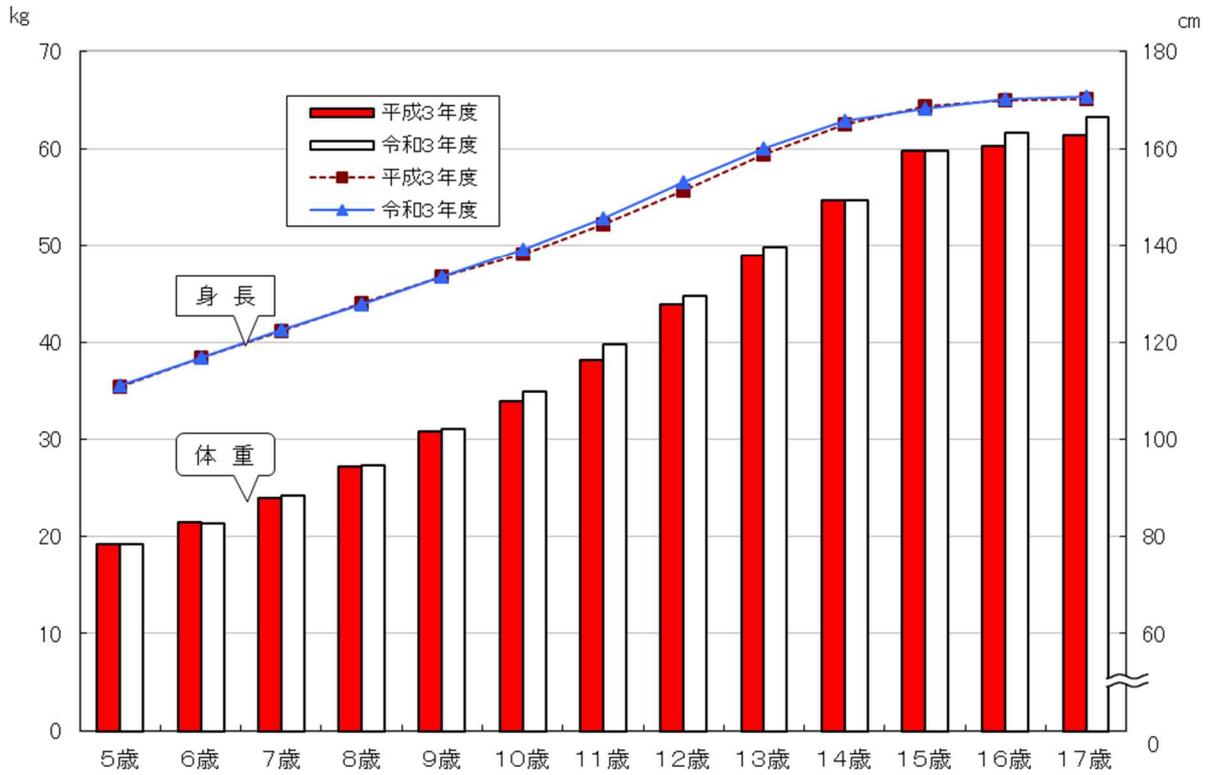
区分		男子			女子		
		令和3年度	平成3年度	差	令和3年度	平成3年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	111.0	110.8	0.2	109.4	110.2	△ 0.8
	6歳	116.7	116.9	△ 0.2	116.1	116.1	0.0
小学校	7歳	122.6	122.4	0.2	121.9	122.0	△ 0.1
	8歳	127.8	128.0	△ 0.2	127.5	127.1	0.4
	9歳	133.5	133.5	0.0	133.9	133.1	0.8
	10歳	139.1	138.2	0.9	141.2	139.8	1.4
	11歳	145.6	144.4	1.2	147.3	146.1	1.2
中学校	12歳	153.1	151.3	1.8	151.3	151.6	△ 0.3
	13歳	159.9	158.8	1.1	154.7	155.2	△ 0.5
	14歳	165.6	165.0	0.6	156.4	156.6	△ 0.2
高等学校	15歳	168.3	168.6	△ 0.3	157.2	157.1	0.1
	16歳	170.1	169.9	0.2	157.7	157.4	0.3
	17歳	170.6	170.3	0.3	157.9	157.9	0.0

体重 (単位:kg)

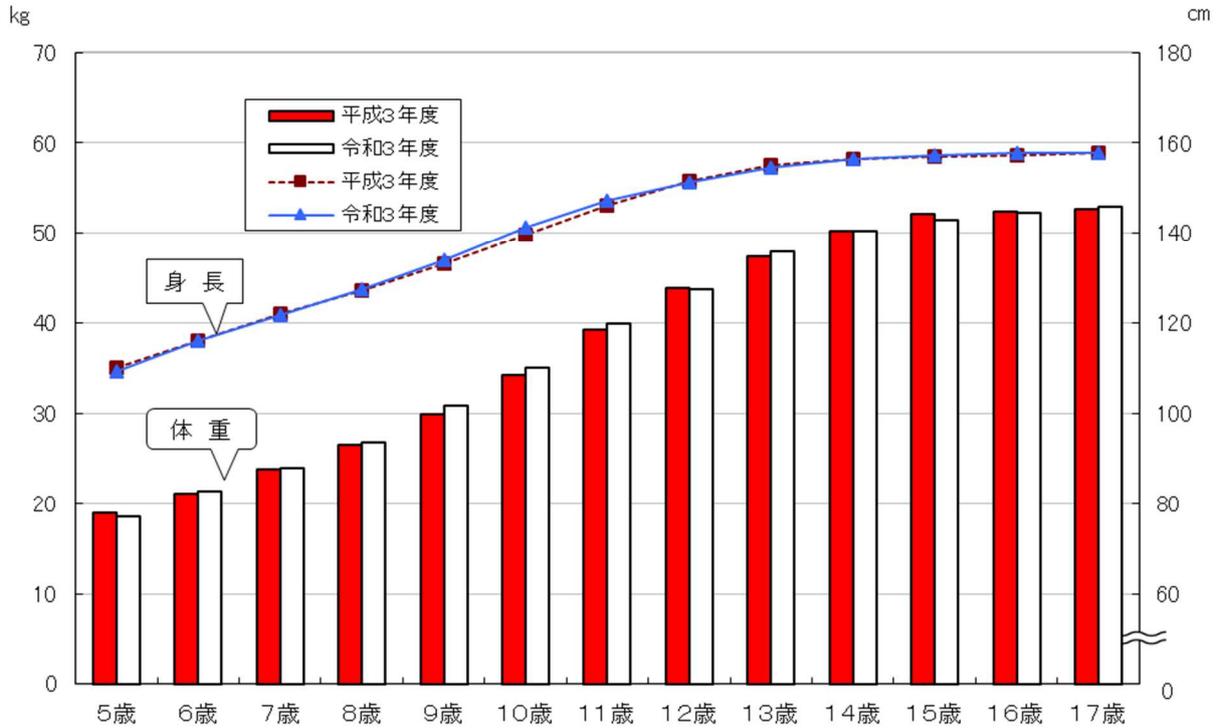
区分		男子			女子		
		令和3年度	平成3年度	差	令和3年度	平成3年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	19.2	19.2	0.0	18.6	19.0	△ 0.4
	6歳	21.4	21.5	△ 0.1	21.4	21.1	0.3
小学校	7歳	24.3	24.0	0.3	23.9	23.8	0.1
	8歳	27.4	27.2	0.2	26.8	26.5	0.3
	9歳	31.1	30.8	0.3	30.8	29.9	0.9
	10歳	34.9	34.0	0.9	35.0	34.2	0.8
	11歳	39.8	38.2	1.6	40.0	39.3	0.7
中学校	12歳	44.8	43.9	0.9	43.7	43.9	△ 0.2
	13歳	49.8	48.9	0.9	47.9	47.4	0.5
	14歳	54.7	54.7	0.0	50.3	50.2	0.1
高等学校	15歳	59.7	59.7	0.0	51.5	52.2	△ 0.7
	16歳	61.6	60.2	1.4	52.3	52.4	△ 0.1
	17歳	63.2	61.4	1.8	53.0	52.7	0.3

※令和3年度の集計結果については、調査時期の影響が含まれるため、30年前の平成3年度の数值との比較は参考値となりますので、ご注意ください（P2「3. 利用上の注意」(3)参照）。

参考図 2-1 親の世代である 30 年前（平成 3 年度調査）との比較（男子）



参考図 2-2 親の世代である 30 年前（平成 3 年度調査）との比較（女子）



2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向児 (表2、図2-1)

肥満傾向児の出現率は、男子では、5歳から8歳を除く各年齢で10%を超えており、15歳及び16歳で12.94%と最も高くなっています。また、7歳、10歳、11歳及び14歳から17歳で全国値を上回っています。

女子では、11歳でのみ10%を超えており、11.31%と最も高くなっています。また、6歳、9歳、11歳、13歳から15歳及び17歳で全国値を上回っています。

(2) 痩身傾向児 (表2、図2-2)

痩身傾向児の出現率は、男子では、5歳から9歳を除く各年齢で1%を超えており、10歳で3.44%と最も高くなっています。また、7歳、10歳から12歳及び14歳で全国値を上回っています。

女子では、5歳から8歳を除く各年齢で1%を超えており、15歳で4.17%と最も高くなっています。また、6歳、9歳、11歳及び15歳で全国値を上回っています。

表2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

(単位:%)

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
肥満傾向児	和歌山	2.18	4.93	7.26	7.73	10.21	10.56	11.97	9.34	10.31	9.30	10.82	9.16	10.72
	男	1.43	3.67	8.09	8.61	11.64	12.92	12.58	11.54	10.70	10.33	12.94	12.94	11.88
	女	2.91	6.20	6.42	6.81	8.83	8.13	11.31	7.07	9.90	8.23	8.57	5.14	9.54
	全国	3.66	5.20	7.25	9.06	10.17	10.96	10.98	10.90	9.70	9.05	9.97	8.94	9.02
	男	3.61	5.25	7.61	9.75	12.03	12.58	12.48	12.58	10.99	10.25	12.30	10.64	10.92
	女	3.73	5.15	6.87	8.34	8.24	9.26	9.42	9.15	8.35	7.80	7.57	7.20	7.07
痩身傾向児	和歌山	0.09	0.42	0.41	0.40	1.39	2.89	2.76	3.26	1.98	2.78	2.84	2.20	1.67
	男	0.19	0.17	0.59	0.34	0.89	3.44	2.85	3.17	1.53	3.26	1.58	2.09	1.72
	女	-	0.68	0.23	0.47	1.86	2.33	2.65	3.36	2.44	2.29	4.17	2.31	1.62
	全国	0.33	0.38	0.43	0.84	1.54	2.34	2.51	3.29	2.97	2.59	3.57	2.84	2.63
	男	0.30	0.28	0.31	0.84	1.42	2.32	2.83	3.03	2.73	2.64	4.02	3.34	3.07
	女	0.36	0.49	0.56	0.83	1.66	2.36	2.18	3.55	3.22	2.55	3.10	2.33	2.19

※肥満・痩身傾向児については、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度(過体重度)を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としています。

肥満度(過体重度)

$$= [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

$$\text{※身長別標準体重 (kg)} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

係数	年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		男	a	0.386	0.461	0.513	0.592	0.687	0.752	0.782	0.783	0.815	0.832	0.766
	b	23.699	32.382	38.878	48.804	61.390	70.461	75.106	75.642	81.348	83.695	70.989	51.822	53.642
女	a	0.377	0.458	0.508	0.561	0.652	0.730	0.803	0.796	0.655	0.594	0.560	0.578	0.598
	b	22.750	32.079	38.367	45.006	56.992	68.091	78.846	76.934	54.234	43.264	37.002	39.057	42.339

出典：公益財団法人日本学校保健会『児童生徒等の健康診断マニュアル(平成27年度改訂)』

図 2 - 1 肥満傾向児の出現率

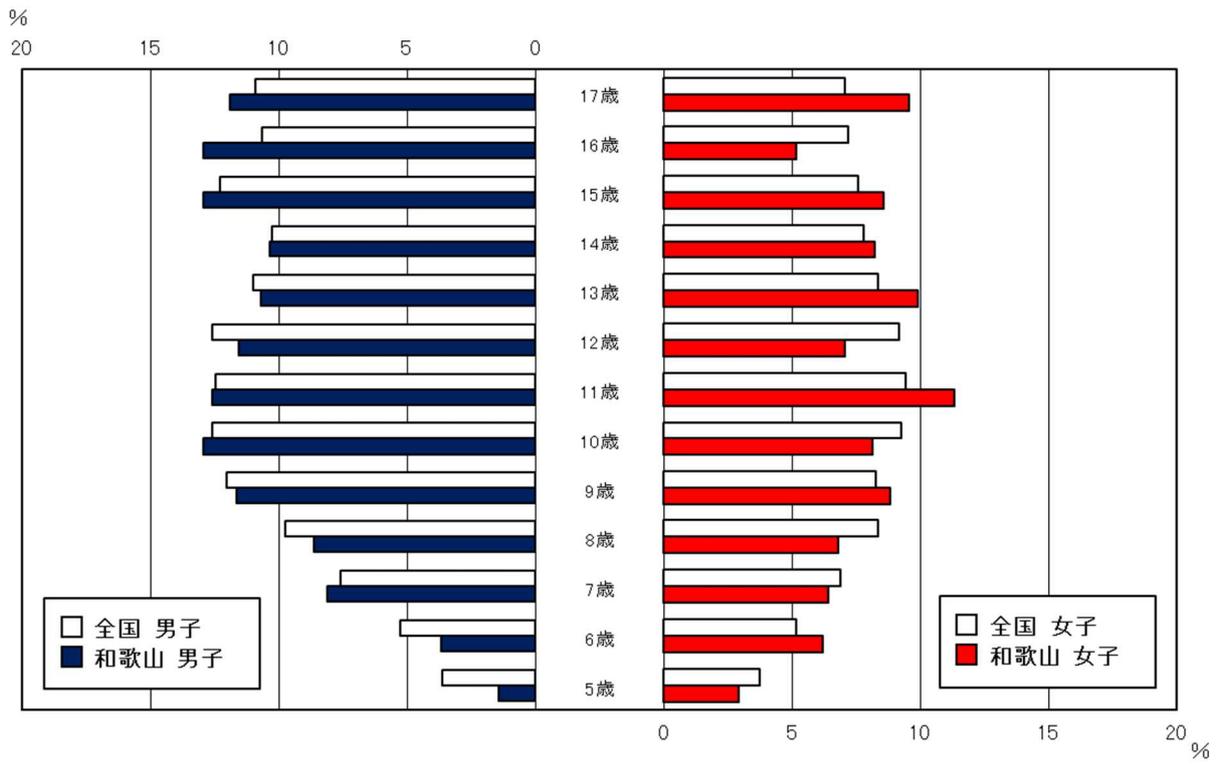
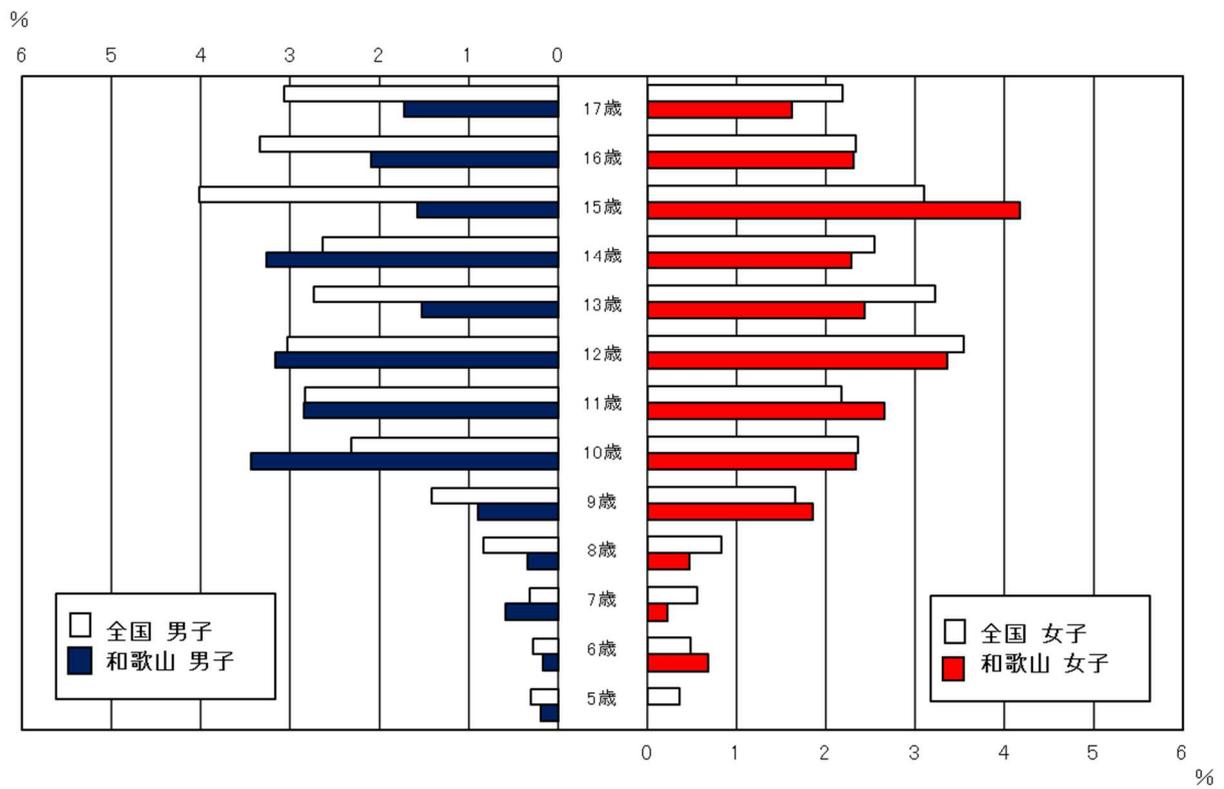


図 2 - 2 痩身傾向児の出現率



【 健 康 状 態 】

1 学校区分別 主な疾病・異常被患率等について (表3)

(1) 裸眼視力 1.0 未満

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、幼稚園 21.6%、小学校 34.1%、中学校 54.7%、高等学校 71.4% となっており、全国値と比較すると、幼稚園、小学校及び中学校で下回っています。

(2) 眼の疾病・異常

眼の疾病・異常の者の割合は、幼稚園 4.1%、小学校 7.3%、中学校 7.8%、高等学校 3.9% となっており、全国値と比較すると、すべての学校区分で上回っています。

(3) 鼻・副鼻腔疾患

鼻・副鼻腔疾患の者の割合は、幼稚園 0.3%、小学校 16.1%、中学校 12.2%、高等学校 0.4% となっており、全国値と比較すると、小学校及び中学校で上回っています。

(4) むし歯 (う歯)

むし歯 (う歯) の者の割合は、幼稚園 30.2%、小学校 44.9%、中学校 34.8%、高等学校 46.2% となっており、全国値と比較すると、すべての学校区分で上回っています。

(5) アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園 1.9%、小学校 1.7%、中学校 1.4%、高等学校 1.1% となっており、全国値と比較すると、小学校、中学校及び高等学校で下回っています。

(6) ぜん息

ぜん息の者の割合は、幼稚園 0.5%、小学校 1.3%、中学校 0.8%、高等学校 0.8% となっており、全国値と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

2 年齢別 疾病・異常被患率等について (表4-1~3)

年齢別にみると、5歳から9歳においては、「むし歯 (う歯)」の者の割合が最も高く、次いで「裸眼視力 1.0 未満」の者の順となっています。

10歳から17歳においては、「裸眼視力 1.0 未満」の者の割合が最も高く、次いで「むし歯 (う歯)」の者の順となっています。

表3 主な疾病・異常被患率等の推移

(単位:%)

区分		裸眼視力1.0未満		眼の疾病・異常		鼻・副鼻腔疾患		むし歯(う歯)		アトピー性皮膚炎		ぜん息	
		和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国	和歌山県	全 国
幼稚園	29年度	X	24.48	2.6	1.60	5.1	2.86	36.3	35.45	2.9	2.09	0.6	1.80
	30年度	X	26.68	4.4	1.55	1.4	2.91	32.1	35.10	2.1	2.04	2.1	1.56
	令和元年度	X	26.06	1.7	1.92	0.3	3.21	27.3	31.16	2.1	2.31	0.7	1.83
	2年度	X	27.90	4.5	1.36	0.3	2.38	X	30.34	1.9	1.90	0.8	1.64
	3年度	21.6	24.81	4.1	1.48	0.3	2.96	30.2	26.49	1.9	1.75	0.5	1.48
小学校	29年度	28.4	32.46	10.5	5.68	12.6	12.84	50.3	47.06	2.5	3.26	2.2	3.87
	30年度	31.0	34.10	10.7	5.70	16.4	13.04	49.7	45.30	2.2	3.40	1.8	3.51
	令和元年度	30.9	34.57	8.0	5.60	11.1	11.81	48.4	44.82	3.0	3.33	2.0	3.37
	2年度	32.2	37.52	7.2	4.78	9.8	11.02	42.2	40.21	1.5	3.18	1.2	3.31
	3年度	34.1	36.87	7.3	5.13	16.1	11.87	44.9	39.04	1.7	3.20	1.3	3.27
中学校	29年度	53.4	56.33	9.4	5.66	11.9	11.27	45.1	37.32	2.0	2.66	1.8	2.71
	30年度	52.4	56.04	6.8	4.87	11.3	10.99	35.7	35.41	1.5	2.85	1.1	2.71
	令和元年度	60.7	57.47	9.9	5.38	11.0	12.10	43.3	34.00	1.9	2.87	1.1	2.60
	2年度	53.8	58.29	7.4	4.66	8.4	10.21	34.2	32.16	1.2	2.86	1.4	2.59
	3年度	54.7	60.66	7.8	4.84	12.2	10.06	34.8	30.38	1.4	2.95	0.8	2.31
高等学校	29年度	68.1	62.30	5.3	3.54	1.8	8.61	55.8	47.30	1.6	2.27	1.6	1.91
	30年度	64.0	67.23	4.9	3.94	0.1	9.85	55.2	45.36	1.8	2.58	1.1	1.78
	令和元年度	65.4	67.64	3.3	3.69	1.3	9.92	49.2	43.68	0.9	2.44	0.4	1.79
	2年度	65.1	63.17	2.4	3.56	0.5	6.88	45.0	41.66	0.5	2.44	0.4	1.75
	3年度	71.4	70.81	3.9	3.35	0.4	8.81	46.2	39.77	1.1	2.58	0.8	1.70

※「X」は、標本サイズが小さい等のため、統計数値を公表しておりません。

※なお、令和3年度の数値について、いずれの項目も調査時期の影響が含まれるため、令和2年度に引き続き令和元年度まで及び令和2年度の数値と単純な比較はできません。

表 4-2 年齢別 疾病・異常被患率等 (和歌山県②男)

(単位: %)

区分	裸眼視力										眼の疾病・異常			耳鼻咽喉			歯・口腔				歯肉の状態	歯垢の状態	歯列・咬合	顎関節	その他異常		
	視力非矯正者の裸眼視力					視力矯正者の裸眼視力					計	耳疾患	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)		未処置者	処置者	計								
	1.0以上	1.0未満	0.7以上	0.7未満	0.3以上	0.3未満	1.0以上	1.0未満	0.7以上	0.7未満					0.3以上	0.3未満				計						処置者	未処置者
幼稚園	100.0	80.2	14.2	2.5	-	0.4	1.8	0.9	-	19.4	16.0	3.4	-	4.0	...	3.1	0.5	1.5	32.5	12.5	19.9	3.5	-	1.4	-	3.3	
小計	5歳	67.0	9.4	8.9	2.7	2.2	1.9	2.9	5.0	30.8	11.3	7.7	7.4	7.4	0.7	8.6	19.4	2.2	46.8	22.2	24.6	8.3	0.0	6.1	3.5	7.6	
	6歳	100.0	78.8	11.7	4.8	0.8	2.0	0.3	0.9	19.3	12.0	5.7	1.6	6.0	0.8	12.2	15.3	3.1	42.2	15.1	27.1	4.9	-	2.2	0.9	7.9	
	7歳	100.0	73.3	10.1	8.1	1.8	2.5	0.7	2.3	1.2	24.2	10.8	3.0	7.7	0.8	6.9	24.8	1.9	45.1	20.0	25.1	10.3	0.0	3.5	2.1	4.9	
	8歳	100.0	71.7	10.2	6.8	2.9	0.9	1.8	3.0	2.7	27.4	11.9	9.8	5.6	7.4	1.1	11.5	21.2	3.1	53.6	24.9	28.7	8.9	-	7.3	2.3	5.8
	9歳	100.0	65.6	8.1	8.6	4.2	1.8	3.1	2.9	5.9	32.7	11.1	11.4	10.1	8.8	...	6.1	15.9	0.6	56.6	30.7	25.9	6.0	-	5.4	2.8	7.1
小計	10歳	100.0	56.8	8.4	13.0	3.7	2.9	2.4	3.8	8.9	10.8	16.8	12.6	6.8	0.2	7.8	20.6	2.0	46.5	23.7	22.8	9.5	0.0	8.9	6.8	9.6	
	11歳	100.0	57.3	8.2	11.4	2.9	3.2	4.2	9.6	39.5	11.4	15.6	12.4	7.8	...	7.0	X	2.5	37.0	18.7	18.3	10.1	0.0	8.6	5.9	10.1	
	12歳	100.0	51.0	8.7	10.7	3.8	0.1	0.2	5.3	20.2	48.9	9.0	24.0	7.8	0.3	5.9	13.1	1.5	32.6	18.7	13.9	8.3	1.1	7.9	6.2	3.7	
	13歳	100.0	55.5	9.0	8.3	4.6	0.4	0.3	4.3	17.6	44.1	9.4	22.2	9.4	0.3	6.9	12.8	2.6	30.0	18.1	11.9	8.9	1.0	7.5	6.9	5.2	
	14歳	100.0	54.0	7.7	10.4	3.2	-	0.4	6.3	17.9	46.0	8.1	16.7	21.1	6.6	...	4.9	12.4	0.9	32.4	18.4	14.0	6.0	0.6	8.4	6.1	3.0
小計	15歳	100.0	43.3	9.4	13.4	3.8	-	0.0	5.2	25.0	56.7	9.5	28.7	7.3	0.3	5.8	14.1	1.1	35.3	19.6	15.7	10.0	1.8	7.9	5.7	2.9	
	16歳	100.0	30.8	10.2	9.4	X	0.3	0.7	6.7	X	68.9	10.9	41.9	4.5	0.3	0.1	0.7	0.0	44.9	26.3	18.5	4.7	0.3	6.0	6.5	1.7	
	17歳	100.0	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	4.9	0.4	0.3	1.6	0.1	38.3	20.9	17.5	4.8	0.2	5.0	7.0	1.9
	16歳	100.0	32.8	X	X	X	X	X	X	X	67.2	X	X	X	4.4	...	0.0	0.4	-	42.7	26.3	16.4	5.5	0.0	5.3	7.2	1.9
	17歳	100.0	28.7	10.5	10.4	3.4	-	0.9	6.1	39.9	71.3	11.4	16.5	43.4	4.3	0.2	0.1	0.1	-	53.5	31.8	21.7	3.9	0.6	7.6	5.3	1.2

区分	永久歯の1人当り平均むし歯(う歯)等数				栄養状態		四肢・胸部・頸部・状態		皮膚疾患		結核検査の精密者	心疾患の常	心電図異常	蛋白質検出者	尿糖検出者	その他の疾病・異常			
	計	喪失歯数	むし歯(う歯)		養	状	き	柱	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患						ぜ	腎臓疾患	言語障害	病の他異常
			計	処置歯数							処置歯数	未処置歯数							
幼稚園	0.5	0.1	2.4	0.3	...	0.6	...	1.6	...	0.6	...	0.9	2.5		
小計	5歳	2.2	1.1	1.9	0.2	0.0	0.7	3.1	2.5	0.2	1.5	0.3	0.3	5.4		
	6歳	0.7	0.8	1.4	0.3	0.0	0.9	3.1	1.2	0.0	1.7	0.6	0.9	5.3		
	7歳	1.2	0.8	2.4	0.6	-	0.2	...	2.7	-	1.3	0.6	0.2	5.6		
	8歳	2.8	1.2	2.2	0.1	-	1.2	...	2.2	-	1.3	0.2	0.7	4.8		
	9歳	2.5	0.9	1.2	0.2	0.1	0.7	...	1.7	0.1	0.9	0.1	0.1	4.2		
小計	10歳	3.1	1.2	2.3	0.2	-	0.5	...	2.8	0.1	2.1	0.2	0.0	7.3		
	11歳	2.8	1.4	2.1	0.0	-	0.6	...	4.2	1.0	1.4	0.1	0.1	5.3		
	12歳	0.5	0.0	0.5	0.3	1.0	1.7	1.3	0.1	-	0.8	3.4	6.2	0.1	1.1	0.0	2.3		
	13歳	0.5	0.0	0.5	0.3	1.3	1.9	1.3	0.1	-	0.7	3.4	5.2	-	1.3	0.0	2.0		
	14歳	0.8	1.3	1.3	1.3	0.1	-	1.1	...	6.8	-	0.9	0.3	0.1	2.3	
小計	15歳	0.9	1.8	1.3	-	-	0.5	...	6.7	0.2	1.1	0.0	-	2.5		
	16歳	0.0	1.0	1.3	0.1	...	0.0	0.9	4.8	0.2	0.8	0.1	0.1	2.8		
	17歳	0.0	1.1	1.1	0.2	...	0.0	0.2	4.8	0.2	1.1	0.2	0.2	3.1		
	16歳	-	1.2	1.1	0.1	0.9	0.1	0.8	0.1	0.0	3.1	
	17歳	0.0	0.7	1.7	0.1	...	0.8	0.2	...	6.6	0.2	0.7	0.0	-	2.3	

1. この表は、疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者の割合の推計値を示したものです。
 2. 表中の記号について、「-」は計数がない場合、「0.0」は計数が単位未満の場合、「...」は調査対象とらなかった場合、「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者が100人(5歳は50人)未満、回答者が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない場合を表します。
 3. 結核に関する検診の取扱いについては、「学校保健安全法施行規則」の一部改正に伴い、平成24年4月から教育委員会に設置された結核対策委員会からの意見を聞かずに精密検査を行うことができるようになったため、「結核の精密検査の対象者」には、学校の診察の結果、精密検査が必要と認められた者も含まれます。

